

モーツアルト盤を聴く (36) (HP 収載)
—最新アナログシステムでの試聴(36)—

1. 始めに

前報(35)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回もピアノソナタの曲です。

SERAPHIM ID-6047

モーツアルト SIX MINUETS K1-5&94
EIGHT VARIATIONS IN G
SEVEN VARIATIONS IN D
SIX VARIATIONS IN G
SONATA No.16 IN B FLAT
RONDO IN F
ADAGIO IN C FOR GLASS HARMONICA
SONATA No.4 IN E FLAT
SUITE IN THE STYLE OF HANDEL
TWELVE VARIATIONS IN C
SONATA No.11 IN A
MINUET IN D
ANDANTINO IN E FLAT
FANTASIA IN D MINOR
SONATA No.8 IN A MINOR

TWELVE VARIATIONS IN C
SONATA No.2 IN F
ADAGIO IN B MINOR
SIX VARIATIONS IN F
KLEINER TRAUMMARSCH
SONATA No.3 IN B FLAT
TWELVE VARIATIONS IN E FLAT
FANTASIA IN C MINOR
SONATA IN C MINOR

ワルター・ギーゼキング (ピアノ)

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

SERAFIM のモノラル盤ということで、EMI、逆相、第4時定数 Low で聴いて行きます。

ギーゼキングのソナタ他の小品も含めてのモーツアルトのピアノ曲の全集で LINN LP-12 の再生によりじっくり聴いていきます。

モノラル盤で録音も古いようなので、周波数レンジも広くありませんし、ダイナミックレンジも大きくありません。

しかしながらギーゼキングが1曲1曲丁寧にひとつひとつ演奏しているように感じますが、曲の内容に合わせて、時として豪快に、あるいは静逸に、そして軽快に演奏していることが分ります。音質面では特筆すべき点はありませんが、モノラル盤ながら、そういった演奏に引き込まれる要素があります。

3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E の導入の交換などの総合的な効果として、モノラル盤ながらギーゼキングのピアノイズムが伝わってきます。

以上